

第 8 回 経済産業政策新機軸部会開会に際して

本日、国会対応により出席できないことをお詫び申し上げます。まず、昨年来、8回にわたり、産業構造審議会経済産業政策新機軸部会にご参加いただき、多岐にわたるご意見をいただきましたことを感謝申し上げます。

過去 30 年間にわたる日本経済の低迷を脱却するために必要な政策を「経済産業政策の新機軸」として御議論いただき、中間整理案としてまとめました。

取り組まなければならないことは多岐にわたりますが、共通するのは、官も民も一歩前にでて、成長分野への投資を拡大することです。そのために、グリーンやデジタルなど社会課題解決と経済成長・国際競争力強化の両者の実現に向けてビジョンと戦略を共有して大胆に投資をしていく「ミッション志向の産業政策」と、スタートアップ創出のためのエコシステムの確立や旧来の日本型雇用システムからの転換など「経済社会システムの基盤の組み替え」という二つのアプローチで取り組みたいと思います。

経済産業省としても、関係省庁と連携しながら、スピード感をもって、できるものから政策として実現し、官民で成長領域への投資、特に、無形資産投資、人的資本投資を、他の先進国を超えるペースで拡大することを目指したいと思います。

日本経済を巡る状況は、ウクライナを巡る地政学的な構造変化や世界経済の今後に対する様々な懸念など、待ったなしの状況です。本日は、さらに必要な政策や、今後検討を深めるべき論点を中心に更に、忌憚のないご意見をいただければと思います。

令和 4 年 4 月 27 日

経済産業大臣 萩生田 光一